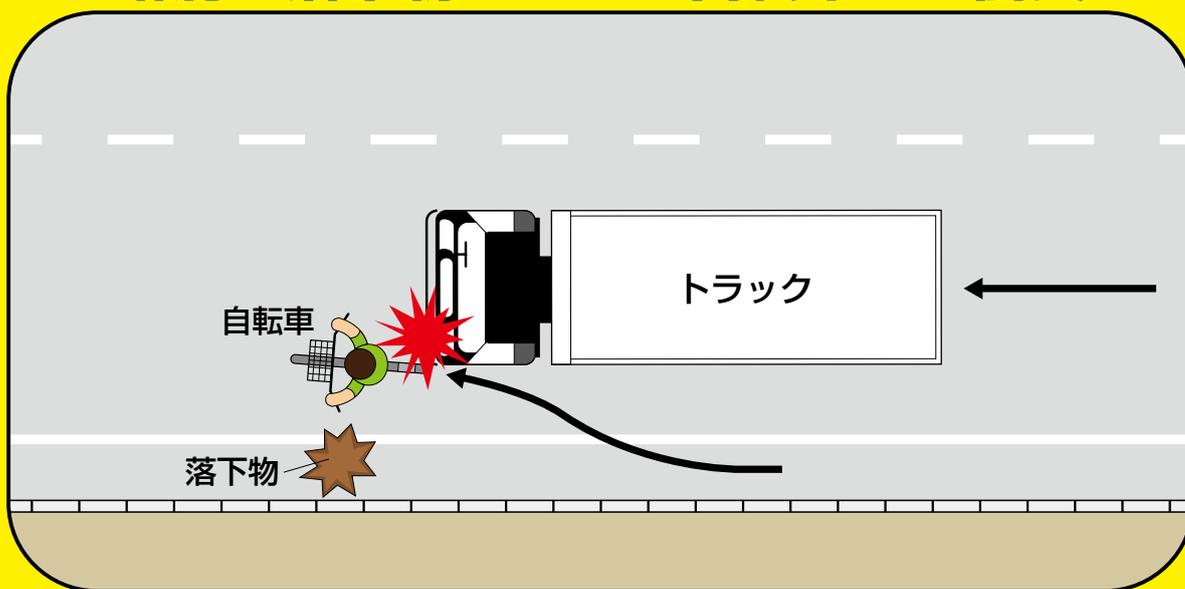


自転車が目の前に切り込んできた!

～路肩の落下物をよけた自転車との衝突～



どのような場所か…

交通量の少ない郊外道路。
直線で見通しは良い。

どのような事故か…

路肩を走行していた自転車が、路肩の落下物を避けて右側に大きくふくらむ。自転車のやや後ろを走行していたトラックはハンドル・ブレーキで回避動作を行ったが間に合わず自転車に衝突した。

原因は……

トラック：自転車への動静不注視。自転車の存在を把握していたが、そのまま直進しか「しないだろう」と思い込んでいた。

自転車：後方不確認。ただ漫然と運転し、障害物を発見した後、後方確認もせず右に膨らんだ。

この事故を防ぐためには…

自転車は小回りが利き、エンジンではなく人力走行のため自由奔放に運転する人が多い。さらに交通弱者の意識が強く、我が物顔で運転する人もいる。自転車はどんな動きをするかわからない、また風などの自然現象でふらつく事もある。最近は音楽を聴きながら走行する者もあり、音への注意が疎かになっている場合もある。自転車を発見した時は、まず車間距離を取る。周りの交通状況を注意しながら、自転車とは距離を取り、ゆっくり追越す。その時、トラックに驚きふらつく事のないように注意する。老人や子供、児童を乗せた2人乗りの自転車の場合は特に注意する事が大切です。

《事故防止上の注意点》

- 自転車は自由奔放・縦横無尽に、小回りを利かせて走る。
- 免許証の取得が必要ないので、交通ルールに疎い。
- 交通弱者の意識が強く、わがままな運転をする者がいる。自転車を発見したら、上記の事を思い出してください。



事故事例ニュース

第283号

四国交通共済協同組合
安全対策部
坂出市番の州公園6番6号
(安全対策部直通)
0877-85-7992
電話0877-44-4416代

たまにいる自由になり危険無視